

令和7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

ヒレグロ日本海

対象水域	日本海 (青森県～島根県)	参画機関名	水産研究・教育機構 水産資源研究所 底魚資源部、青森県産業技術センター 水産総合研究所、秋田県水産振興センター、 山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、 富山県農林水産総合技術センター水産研究所、 石川県水産総合センター、福井県水産試験場、 京都府農林水産技術センター海洋センター、 兵庫県立農林水産技術総合センター 但馬水産技術センター、鳥取県水産試験場、 島根県水産技術センター
------	------------------	-------	---

- ・ 令和6年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_172.pdf）、次回令和9年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 機構は生物情報の収集、各府県漁獲情報の集約、日本海西部と日本海北部において資源調査（日本海ズワイガニ等底魚資源調査、日本海北部底魚資源調査）を実施
- ・ 各府県は漁獲統計の収集を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 青森県では主要21港（日本海側～陸奥湾）の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 秋田県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 京都府では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 鳥取県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 島根県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 機構は各府県の漁獲量を集約、日本海西部と日本海北部における資源調査結果を解析

中

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和6年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_172.pdf)
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

- ・日本海西部トロール調査と日本海北部桁網調査による資料に基づく解析を高度化する事が重要
- ・ズワイガニに対する漁獲動向が本資源のデータに与える影響を把握することが重要